



国内外の認知症当事者がバトンをつなぐ
希望のリレー 国際フォーラム 2025
～認知症当事者の声とチカラ、つながりを活かして、共生社会の推進を～

2025年2月14日 有楽町朝日ホール

主 催：社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター
共 催：一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ



認知症ではない人は、認知症とともに生きるとは
どういうことか本当には知りえない。
私たちは生きた経験の専門家である。

ケ イ ト ・ ス ワ フ ァ ー

国内外の認知症当事者がバトンをつなぐ 希望のリレー 国際フォーラム 2025

～認知症当事者の声とチカラ、つながりを活かして、共生社会の推進を～

プログラム

- ◆ 13:00 開会
主催者あいさつ 社会福祉法人浴風会 会長 江利川 毅
来賓あいさつ 厚生労働省老健局
- ◆ 13:15 第1部 基調講演 p.3
「認知症施策の推進に向けた当事者参画の国際的な動向とこれからの展望」
ケイト・スワファー (通訳) 寺田真理子
- 14:15～14:30 休憩 *動画を上映(国内の認知症当事者の発信と参画のリアル)
- ◆ 14:30 第2部 トークセッション p.59
当事者参画を拡充していくために必要なことは何か？
～ 当事者同士の国際ネットワークへの期待も含めて～
○ケイト・スワファー(オーストラリア在住、国際認知症同盟 共同設立者)
○丹野 智文(宮城県仙台市、認知症本人大使「希望大使」、みやぎ認知症応援大使)
○藤田 和子(鳥取県鳥取市、認知症本人大使「希望大使」、鳥取市認知症本人大使「希望大使」)
○山中 しのぶ(高知県南国市、高知家希望大使)
～ アジアの本人からのメッセージの紹介～ *p.53 をご参照下さい
- <フロアからリレーメッセージ:当事者参画や当事者のつながりの大切さ等> p.62
○春原 治子(長野県上田市、認知症本人大使「希望大使」)
○戸上 守 (大分県豊後大野市、認知症本人大使「希望大使」、大分県希望大使)
○福田 人志(長崎県佐世保市、県内外で当事者活動)
○平 みき(茨城県石岡市、県内外で当事者活動)
○片桐 亨 (北海道恵庭市、市内外で当事者活動)
○神原 繁行(秋田県横手市、あきたオレンジ大使)
○柿下 秋男(東京都品川区、認知症本人大使「希望大使」)
- ◆ 15:45 まとめ・謝辞
認知症介護研究・研修東京センター センター長 栗田 主一
- ◆ 16:00 閉会 *アンケートの記入にご協力をお願いします。

*当日、進行や内容に一部変更が生じることがありますことを、ご了承ください。

*巻末の参考資料(p.71～)も、どうぞご覧ください。

こ の フ ォ ー ラ ム の 趣 旨

<認知症になってからも自分らしく、希望をもって地域で共に生きる>

- ◆ 日本国内では、それがもはや理想ではなく、さまざまな人たちの息の長い試行錯誤の積上げを通じて、現実のものとなりつつあります*。
- ◆ そして、現実にある課題や格差をなくし、どこで暮らしていても、尊厳と希望のある暮らしの実現が図られるように、2023年6月に基本的人権を理念の筆頭に掲げた「共生社会の実現を推進するための 認知症基本法」が成立し、2024年1月から施行され、2024年12月には「認知症施策推進基本計画」が閣議決定されました。
- ◆ 今、私たちは、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある共生社会を実質的に築いていくための、大切な転換点に立っています。
- ◆ 共生社会の実現になくてはならないのが、認知症とともに生きている本人の発信と参画です。今回のフォーラムでは、その世界的な牽引役であるケイト・スワファーと国内の本人が、希望と尊厳を持って生きる自らのチャレンジと社会への期待について語りあいます。
- ◆ 認知症とともに生きる希望と知恵を本人から本人へ、そして本人から同時代を生きるすべての人たちにつなぐ「希望のリレー」を、立場や職種を超えて、一人ひとりが着実に広げ、共生社会をともに創り、育てていきましょう。
今回のフォーラムが、みなさまお一人一人のこれからの暮らし、活動、仕事、営みが、よりよい方向に向けて進んでいくための契機となりますように。

2025年2月

社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター

このフォーラムは、令和6年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金「共生社会の推進のための認知症の本人参画に関する国際ネットワーク構築に向けた調査研究」の一環として開催します。

* 「認知症地域支援推進員 活動情報集【地域共生編】」認知症介護研究・研修東京センター
(2022年度厚生労働省 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業)
DC net 認知症地域支援推進員